

議会
だより

あしや

対

NO. 199

平成30年11月15日発行
福岡県芦屋町議会

親子でゴール!

もくじ

9月定例会

- 9月定例会 P 2~
- 4人が町政を問う（一般質問） P 9~
- 視察レポート P 15
- 町かどインタビュー P 16

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。
なお、配信は本会議終了から7日後（休日のぞく）
になります。



録画中継

実績を収めました

（前年度比 4 億 3327 万 4219 円増）、歳出 75 億 4691 万 398 円

9 月定例会

9 月定例会

一般質問

視察関係

第3回定例会が、平成30年9月6日から19日までの14日間の会期で開催されました。7日に行われた一般質問では、4人の議員が登壇しました。条例、決算、補正予算など23議案が上程され、21議案が可決されました。



子ども医療費の扶助

5 4 5 3 万 2 9 6 1 円

（うち町単独 1 8 7 9 万 9 1 1 4 円）

芦屋町は子ども医療費の扶助として、子どもが医療機関で診察を受けた場合、保険適用の診療について自己負担を助成しています。

- ◆対象者：0歳から中学3年生まで
- ◆自己負担額：入院、通院ともに無料

防犯街灯をLED化

1 4 7 2 万 2 5 6 0 円

町内には約1100基の防犯街灯があります。夜間に安全で安心して通行できるように、既存の蛍光灯よりも明るく経費が削減されるLED灯に取り替えています。30年度で町内全ての防犯街灯がLED化されます。



芦屋中学校プールを改修

9 2 4 7 万 2 0 8 8 円

老朽化に伴い改修工事を行いました。その際にプールサイドをコンクリートから防滑性ビニルシートに変え、擦り傷などのけがが防止や照り返しによる暑さ防止になります。

29年度
決算

生活環境の充

一般会計決算は、歳入 78 億 7425 万 8448 円（前年度比 3 億 8205 万 6574 円増）となりました。

29年度の主な事業を紹介します。



タウンバス中型車両を購入

2376万円

車両の老朽化、利用者の増加により、芦屋タウンバス中型車両を購入しました。

芦屋タウンバスは、芦屋町内と遠賀川駅を結ぶバスです。平日は67便を運行し、年間の延べ利用者数は、約10万人に及んでいます。車両は、座席数29、乗車定員56人です。

老人憩の家指定管理委託

2485万3000円

老人憩の家利用者一覧

・寿楽会館	1万 256人
・山鹿荘	1万2267人
・鶴松荘	1万5895人
計	3万8418人



議会録画中継システムの導入

318万6000円

より開かれた議会の実現のため、議会録画中継を導入しました。

議会の傍聴に来られない方も気軽に議会を視聴することができます。

録画中継は議会当日から7日以内（休日は除く）に芦屋町ホームページで配信しています。



決算

一般会計

(賛成多数・可決)

◆タウンバス

問 芦屋タウンバス運行による29年度収支状況は。

答 29年度の営業経費は約5395万円。運賃収入は約2920万円、国の補助金等約2174万円となり、実質300万円の赤字である。

◆芦屋釜の里

問 29年度の芦屋釜製作数が2個と昨年の7個に比べて少ないがその理由は。

答 29年度は、初めての試みとして、夏場に鑄込みを行った。夏場は空気中の湿度が高く失敗をしたため、数が少なくなった。しかし、釜の割れを抑制する手法が分かり、30年度は失敗が少なくなっている。

◆自治区活性化

問 リーダー育成のため自治区活性化交付金を増額する計画はないのか。

答 競艇事業局との協議が必要。今後考えていきたい。

◆チャレンジキャンプ

問 29年度初めて実施した親子のチャレンジキャンプ事業の参加者が8組16人と計画より少ないがその原因は何か。また今後継続していくのか。

答 台風接近で日程が変更となり参加者が減った。今後も年間を通じた青少年健全育成活動に参加できない子どもに対応するため、短期事業として継続する。



チャレンジキャンプの様子

◆貸付収入

問 町有財産の貸付収入の内訳は。

答 ・船頭町商業施設
約1058万円
・メガソーラー事業用地
約304万円

・柏原漁港係留施設
約312万円等である。

反対

【公共交通や教育、福祉に充当すべき】
妹川征男議員

①マイナンバー制度は人格、尊厳を持つ人間を番号で識別する制度。②芦屋港活性化推進の本計画を策定するために29年度だけでも1130万円を費やした。この計画はコンサルタント主導型であり、芦屋タウンリゾート計画やマリーナ付き人工島構想の二の舞になることは必定。③芦屋砂像事業2500万円、祭りあしや100万円は、全ての町民にかかわるタウンバスや巡回バス増便、教育、福祉、文化等に予算を回すべきではなかったか。

その他

指定管理者の指定

(満場一致・可決)

芦屋町子育て支援センターの指定管理者を指定

◆指定管理者

社会福祉法人長崎たちばな会

◆指定期間

2019年4月1日から
2024年3月31日まで



子育て支援センター

条例

2019年4月1日から 緑ヶ丘保育所を民営化に



運動会で元気に踊る園児

保育所設置条例の改正

(賛成多数・可決)

指定管理者制度を利用し、公設民営として運営している緑ヶ丘保育所は、2019年4月に施設の無償譲渡等を行い、完全な民営化となる。そのため、条例に規定されている緑ヶ丘保育所に関する文言を削除し、公設を廃止する。

◆譲渡先：社会福祉法人長崎たちばな会

◆公設の廃止日：2019年4月1日

反対

【町民に説明し理解を得ているのか】
川上誠一議員

「子ども子育て支援法」では、内容を大きく変更するときには幅広く住民の声を聞くとなっている。保育所は町民の財産であるため、固定資産税評価額約1億8000万円の保育所を無償で譲渡するのであれば、住民に十分説明し、理解を得なければならぬ。

また、子ども子育て会議の中の十分な議論があったのか疑問である。保育所を無償譲渡し、完全民営化することは、公的責任の大きな後退である。

賛成

【保育所の民営化に賛成】

内海猛年議員

保育所の無償譲渡による民営化は全国的に行われており、県内でも60力以上が民営化されている。民営化による保育サービスの低下は考えにくく、私立保育所間の相乗効果により、良質な保育サービスが提供できると考える。また、私立保育所に移行することで、町費の負担であった運営費や施設整備費等に国・県の補助金が受けられ、運営費だけでも年間2200万円の町負担軽減になる。良質な保育サービスの提供、施設の維持管理、町財政の負担軽減という観点から賛成する。

地域公共交通会議設置条例の改正

(満場一致・可決)

芦屋タウンバスが遠賀町を通過しているため、芦屋町地域公共交通会議の組織に遠賀町を加える。

町道の認定

(満場一致・可決)

西祇園橋架け替え事業に伴い、福岡県が施工した迂回路の引き渡しを受けたため、町道として認定する。



町道と認定された迂回路

人事

監査委員の選任同意

(満場一致・同意)

任期満了に伴い、中西一雄氏を再度選任する。

補正予算

一般会計補正予算(第2号)(賛成多数・可決)

歳入では、財政調整基金繰入金1624万円、地域生活支援事業費補助金62万円を増額し、歳出では、芦屋地区テレビ受信料補助金約250万円、西日本豪雨災害義援金300万円、国民年金システム改修業務委託費等を計上。

補正のあった歳出の主な内容	補正額
芦屋地区テレビ受信料補助金 (防衛省のテレビ受信料補助金廃止に伴い、町費で補助する)	250万円
西日本豪雨災害義援金 (7月6日発生の西日本豪雨災害の被災者に対する義援金)	300万円
国民年金システム改修業務委託 (国民年金第1号被保険者の出産予定月の前月から4カ月間保険料が免除されることに伴うシステム改修)	—

問 芦屋地区テレビ受信料補助金の対象者は。

答 ①30年8月31日をもって住宅防音工事が完了し、助成が終了された世帯

②一部住宅防音工事を実施し、助成額が半額となった世帯
③30年3月31日以後の新規転入者および事業所

問 補助金の対象となる件数および今後の考え方は。

答 補助対象は、
①防音工事が完了した世帯は220世帯

②一部防音住宅工事が完了した世帯は20世帯

③新規転入者および事業者は約220世帯

また来年度以降も継続を考えている。

契約

消防ポンプ自動車購入契約の締結
(賛成多数・可決)

◆購入金額

約2138万円

◆購入業者

ジーエム市原工業(株)

問 現在の消防ポンプ自動車の老朽化状況と今後の購入計画は。

答 15年を経過しており、摩耗等によって操作レバーが劣化している。今後の計画は、32年度に1分団のタンク車、34年度に1分団の消防ポンプ車の購入を考えている。

問 議会の最終日に購入契約の議案が提出されても審議が十分できない。執行部はどのように考えているのか。

答 防衛省の調整交付金を活用する事業であり、国の交付決定が下りないと事務的な手続きができない状況である。できるだけ議会初日に提出できるように努力はしている。



今回購入する消防ポンプ自動車と同型車

一般質問における発言内容の調査特別委員会 調査報告書

田島議員が30年第2回定例会で行った一般質問の発言内容に対し、その真偽について、航空自衛隊芦屋基地、折尾警察署、芦屋町商工会、芦屋町教育委員会、田島議員に事実確認をいたしました。

①田島議員が聞いた覚せい剤に関する大家発言の事実確認

調査結果…田島議員から大家の氏名を聞くことができなかったため、大家発言の確認ができなかった。

②夜の繁華街、商店街における薬物の蔓延状況の事実確認

調査結果…商工会として蔓延している状況の認識はなく、あくまで憶測の域を出ない。

③自衛官の覚せい剤使用に関する事実確認

調査結果…航空自衛隊芦屋基地、折尾警察署に調査したが、事実と判断できるものがないかった。

④子どもたちの薬物使用に関する事実確認

調査結果…芦屋町教育委員会、折尾警察署に調査したが事実と判断できるものがないかった。

※定例会最終日に田島議員より謝罪の申し出がありました。

動議

議長不信任の動議

(賛成少数・否決)

田島憲道議員より、小田武人議長は「議会改革特別委員会委員長であったにもかかわらず積極的に議会改革に取り組んだとは言い難い」、「提出議案に対する一般質問は原則行わないということに対し、何ら対策を講じない」、「議事の進め方に中立性を欠く」との理由で議長不信任の動議が提出されましたが、否決されました。

議会活性化特別委員会の設置を求める動議

(賛成少数・否決)

横尾武志議員より、議会の正常化を図る目的で議会活性化特別委員会設置の動議が提出されましたが、否決されました。

田島憲道議員に対する議員辞職勧告動議

(賛成少数・廃案)

貝掛俊之議員より、定例会最終日に田島憲道議員に対する辞職勧告決議案の動議が提出されましたが、日程に追加し、議題とすることが否決されたため、廃案となりました。

9月定例会意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否について掲載しています。掲載のない16議案は、満場一致で可決されました。

○：賛成、×：反対、退：退出、除：除斥、議：議長代理を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	松岡	今田	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	松上	横尾	小田			
議長不信任の動議	議	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	除	4	6	否決
一般質問における発言内容の調査特別委員会報告	○	○	退	×	×	○	除	○	○	○	○	—	7	2	承認
議会活性化特別委員会の設置を求める動議	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	—	5	6	否決
芦屋町保育所設置条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	9	2	可決
平成30年度芦屋町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	10	1	可決
平成29年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	9	2	認定
平成29年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計決算の認定	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	—	9	2	認定
平成29年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	—	7	4	認定
平成29年度芦屋町モーターボート競走事業会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	10	1	認定
消防ポンプ自動車購入契約の締結	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	—	9	2	可決

議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

行政報告

行政報告とは、町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。



芦屋基地との津波及び洪水発生時における一時避難施設としての使用に関する覚書の締結

◆締結日…8月31日

◆内容

芦屋海岸周辺における津波被害や遠賀川の氾濫による被害が発生・予見された時、より短時間でより安全に避難できる一時避難場所の確保のため、芦屋基地の施設を一時使用すること。

芦屋町にとって、災害発生時に地域住民の生命を守るための一時避難場所として、施設の一部を開放してもらえることは、大変意義のあるものである。

一般質問

町政を問う



会議録

9月7日に議員4人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

※6月定例会での田島議員の一般質問について、「一般質問における発言内容の調査特別委員会」から調査結果が報告され、それを受けて会議録の精査がされましたので今号に記事を掲載しています。

ページ	質問議員	質問事項
10	田島 憲道 (6月定例会)	◎子どもたちの安心・安全 ◎人々を犯罪や事故から守る防犯カメラ
11	松岡 泉	◎水害対策 ◎芦屋中央病院に関わる住民要望の具現化
12	川上 誠一	◎四町での公共交通の確保 ◎遠賀川ゴミ処理基金の創設 ○介護保険制度
13	辻本 一夫	◎豪雨時の避難誘導等対策
14	妹川 征男	◎候補者男女均等法 ◎町長の議会に対する姿勢 ○第2次芦屋町男女共同参画推進プラン

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし





た田 けん じま 島 けん 憲 どう 道

防犯カメラの重点整備が始まった。今後のさらなる取り組みは

総務課長

警察と協議し、随時必要に応じて設置に向け検討する



中学校で行われた薬物乱用防止講演会

子どもたちの安心・安全

問

再犯性の高い万引きや薬物使用犯罪等の危険性に関する学校教育がなされているのか。

答

小学校では、長期休み前の終業式に担任などから、規則の尊重や節度ある生活態度などの指導を行っている。その中で、万引きは絶対してはいけないなどの指導もしている。また、道徳の授業の中で、規則の尊重についても指導し、薬物に

人々を犯罪や事故から守る防犯カメラ

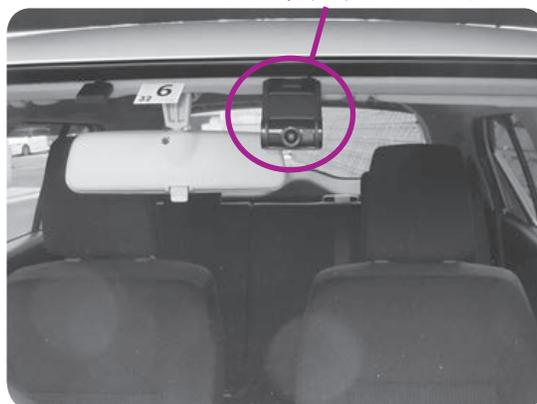
問

昨今の痛ましい事故や事件に対し、芦屋町でもようやく昨年度から、道路や各公施設等に防犯カメラの重点整備が始まった。今後のさらなる取り組みは。

答

防犯カメラについては、これまでに町内6カ所に

ドライブレコーダー



公用車に搭載されたドライブレコーダー

設置したほか、不審者対策などとして、小中学校などにも設置している。30年度は、中学校に防犯カメラ2台の増設を予定しており、今後も警察と協議しながら随時、必要に応じて検討をしていく。

また、防犯対策として、全ての公用車にドライブレコーダー38台を設置し、防犯、犯罪抑止力の強化とともに、交通事故発生時における事故責任の明確化を図っていく。



まつ松 おか岡 いずみ泉

「みんなで逃げる」取り組みを加速させるべきでは

総務課長

自治区や隣組での声掛けが大事。相談や支援を行っていく

水害対策

問 西日本豪雨のように広範囲、長時間の膨大な大雨、河川の氾濫や土砂崩れ等、災害形態に変化が見られる。今回の豪雨時の対応での反省事項は。

答 ①初動における対応人員の不足②災害状況に応じた適切な避難情報等の町民への伝達③道路冠水や浸水対策④細かな避難所運営の在り方⑤避難者や道路冠水の情報提供の方法・手段等である。

問 河川の氾濫により、一挙に水かさが増し、避難の時機を逃し、被害が拡大している。早めに避難を開始するため、避難基準を見直すべきでは。

答 早めの避難の必要性は、十分認識している。避難の開始時機に関わる基準の見直しは、国や県などの動向を見ながら、変更できるものは変更していきたい。

問 公明党が行った100万人訪問・アンケート調査では、高齢者など災害時に配慮が必要な人たちが安全に避難できる体制づくりへの要望が浮き彫りとなった。みんなで逃げるための取り組みを加速させるべきでは。

答 避難する際には、自主防災組織もしくは、自治区行政としては、相談や支援を行っていく。



三軒屋地区の避難訓練の様子

芦屋中央病院に関わる住民要望の具現化

問 芦屋中央病院の移設に伴う状況の変化は、住民にとって、それぞれに不便さや戸惑いを招いており、住民が安心して病院を利用できる環境を整備する必要がある。住民の要望を具現化するため、定期的な事務レベルでの意見交換の場を設けるべきでは。

答 病院で対応すべき事項については、医療の専門的な内容が多いことから病院で対応する。行政として対応すべきことは町が対応する。協議が必要な事項については、情報交換を行い、適宜対応する。可能な事項については、迅速かつ効果的に行う。頂いた要望については、真摯に受け止め、いろんな状況を踏まえた上で総合的に判断し、対応する。

折尾駅や病院、スーパー等を循環するバスの運行の考えは



かわ川 かみ せい いち

環境住宅課長

郡内の交通担当者の集う地方創生市町村圏域会議に提案する

四町での公共交通の確保

問 3月27日のJRダイヤ改正により、遠賀川駅の平日運行本数が8本減便し、通勤の利便性がさらに悪くなった。交通体系の拡充が求められるが、折尾駅を含むJR駅、役場、病院、スーパー等を循環する四町の公共交通の運行はできないのか。

答 四町で循環する公共交通の運行については、郡内の担当者が集まる地方創生市町村圏域会議に提案する。折尾駅については、現在の市営バスの便数を維持・確保が重要。北九州市と連携して協議する。

問 JRは遠賀川駅で1日53本だが、折尾駅で148本と3倍の本数がある。折尾駅へ自前のバスを走らせる考えはあるのか。

答 四町で折尾駅にバスを走らせるには、それぞれの

遠賀川ゴミ処理基金の創設

問 7月6日の豪雨で上流域から流出したゴミが柏原海岸一帯に漂着し、町がゴミ処理費用を負担した。町にとって大きな負担となっている。海洋汚染を防ぐためにもゴミ処理基金の創設が必要だがどうなっているのか。

答 遠賀川の流出ゴミについては8月1日の水質汚濁防止協議会で水質改善だけでなくゴミ問題にも取り組むことが決まった。今後国、県、流域自治体で費用を負担する仕組み、基金創設の議論を行う。

問 公共交通は住民の足確保だけでなく、住民が住み続けられる地域づくりのために果たす役割は大きいと思うがどうか。

答 四町で大いに論議しなければいけないと思う。



町内と遠賀川駅を結ぶ芦屋タウンバス

問 流出ゴミはペットボトルやプラスチック等があり、海洋汚染にもつながるため、早急の実現に努力をしてほしいがどうか。

答 議員の支援もお願いする。



お 本 一 夫 町 長

住民の命を守るため、各家庭に戸別受信機を設置すべきでは

町長 全戸に戸別受信機を早急に導入する方向で検討する

豪雨時の避難誘導等対策

問 初めて避難勧告を出した三軒屋区と大君区の避難行動をどのように感じたか。

答 自主避難所を早めに設置し、土砂災害の危険性や遠賀川の観測所の水位が氾濫危険水位に達したため、避難勧告を発令し避難を促した。31人が避難したが、住民の危機感は低かったと考える。

問 自治区での自助・共助による避難訓練は大事である。芦屋基地との避難場所に関する協定も交わされたので、積極的に訓練を推進すべきでは。

答 芦屋町でも起こり得る災害であることを自治区も認識し、自主的・主体的に取り組んでいただきたいと考える。

問 豪雨の度、大君地区の山から溢れ出る水量に、住民は不安を感じている。対策の

取り組み状況は。

答 排水路の一部改修やグレーチング設置などの改修は行ってきた。山鹿部全体の雨水排水路の改修・改善については原因調査後、どのような浸水対策を行うか検討する。

問 豪雨時、唐戸排水機場の排水処理能力が低いのではないのか。機能拡充の必要性はないのか。

答 排水機場ポンプ一基の排水能力が毎秒2.5tで、2基設置している。この排水機場は30年以上前に設置し、雨量も当時と変化してきている。機能拡充については浸水対策調査の結果によって国土交通省遠賀川河川事務所に要望していく。

問 災害対応に備え、消防・防災担当の他に、防災専門監を設置する考えはないか。

答 全国各地で災害が発生しており、防災の専門性を

有する外部人材を防災監や危機管理監等として採用することは必要だと考えている。

問 台風や豪雨時は窓を閉め、テレビ音等で、防災行政無線や広報車の放送は聞こえない。災害から住民の安全・命を守るため、各家庭に戸別受信機を設置する考えはないのか。

答 住民への情報伝達が一番の悩み。早急に戸別受信機を導入する方向で検討する。



災害情報等を各家庭にお知らせできる岡垣町の戸別受信機（でんたつくん）

女性議員等、女性が参画できる 施策の検討は



お 川 征 妹
いも かわ いく お 男

住民課長

県の男女共同参画推進課と連携を 図りながら、検討を進めていく

候補者男女均等法

問 候補者男女均等法が本年5月に成立した。国及び地方公共団体の責務は何か。

答 政治分野における男女共同参画の推進に関する取り組みの①実態調査、情報の収集、整理、分析及び提供、②啓発活動、③環境の整備、④人材の育成及び活用に資する施策を講ずるよう努めることである。

問 女性候補者が増えると選挙が変わり、女性議員が増えると政治が変わる。芦屋町議会においては、女性議員はゼロであるが、議会に女性が参画できる施策はないのか。

答 配偶者の出産補助金、女性トイレの設置、産後8週まで欠席を認めたところがあるが、環境づくりが大事である。今後研究したい。

一般質問

問 人口減少、少子高齢化が進む中、子育て、福祉等

問題解決の主な担い手は女性が多い。女性の豊富な経験やアイデアを活かすため、政策決定する議会への女性参画は喫緊の課題である。法の目的に向け、町の具体的取り決めの検討は。

答 性別に関係なく活躍できる男女共同参画社会の実現がやはり重要である。今後、県の男女共同参画推進課と連携を図りながら、検討を進める。

視察関係

町長の議会に対する姿勢

問 町長は二元代表制についてどのように考えるのか。

答 首長、議員は共に住民の代表として選挙される。議会、首長は対等な機関として、相互に抑制と均衡を図り、一定の緊張関係を保ちながら政策形成を果たしていくことである。

問 平成22年度高齢者福祉施設等の整備方針の中の留意事項には、「建設予定地について、隣接地の地権者の同意書」があることが要件となっている。町は地裁で敗訴し、高等裁判所に控訴のため提出した準備書面には「隣接する地権者全員の分ではないものの同意書を提出した。」とあるが、留意事項に違反していることを町は認めるようなもの。この文は誰が書いたのか。

答 町の代理人である弁護士である。



議会広報委員会視察レポート

町民参画による一体化した議会広報紙づくり

9月定例会

日程：7月2日～4日

視察先：山形県川西町、宮城県川崎町

視察者：川上誠一・内海猛年・今田勝正・松岡泉

川西町と川崎町の議会だよりは、近年の全国議会広報コンクールで連続して上位入賞している。他の先進地と同様に、編集日程の短縮や町民に読み易く、分かり易い紙面づくりに熱心に取り組んでいる。

◆芦屋町との相違点◆

①町民にモニターや編集アドバイザーを依頼
→町民が参画することで、議会への関心度も高まる。

②町民との意見交換会を開催
→町民の要望を集約化できる。

当町議会の広報紙もここまで実現できれば、コンクール入賞も夢ではないだろうか。

◆芦屋町へのアドバイス◆

- ①表紙写真にコメントを付加する
- ②質問と回答の書体を分ける

アドバイスを頂いた両町に恩返しをするため、表彰式でお会いできたらと決意も新たに町民に親しまれる広報紙の作成に取り組んでいきたい。



山形県川西町視察の様子

一般質問

民生文教委員会活動報告

芦屋中央病院に関わる住民要望の具現化

委員会開催日：6月19日、8月3日

出席者：松岡泉・辻本一夫・横尾武志
川上誠一・貝掛俊之・内海猛年

説明員：住民課長（8月3日のみ）

芦屋中央病院は、平成27年4月に地方独立行政法人化され、今年3月に新病院として移設開業した。病院の環境の変化に伴い、住民からの要望が寄せられる。この状況を踏まえ、当委員会ではこの事務が自ら所管であり真摯な対応が必要であると考え、具現化に向けた在り方を検討した。

【検討結果】

住民からの要望は多岐にわたるため、病院と役場で情報共有しながら、病院関係の要望は病院で、行政関係の要望は役場で対応することを確認した。要望者が明確なときは、対応結果について通知することを改めて委員会の意見として取りまとめた。住民の皆さんが利用しやすい病院の環境づくりに、委員会として今後も努力していきたい。

総務財政委員会視察レポート

ボートレースチケットショップ勝山、嘉麻への視察

日程：9月26日

視察先：ボートレースチケットショップ勝山、
ボートレースチケットショップ嘉麻

視察者：松上宏幸・今田勝正・小田武人
田島憲道・妹川征男・刀根正幸

無償譲渡され、施設の老朽化が進むボートレースチケットショップ勝山および24年5月にオープンしたボートレースチケットショップ嘉麻の集客状況や運営状況を確認するため視察した。

【視察結果】

新規顧客の獲得やリピーターの獲得のためには、快適な空間の提供が必要不可欠のため、今後のトイレの改修や、空間の利用について工夫されていた。

視察関係

町かど インタビュー



芦屋町でリラクゼーションサロンを運営している有村莉紗さんに芦屋町の雰囲気についてなどインタビューしてきました。

Q 芦屋町にお店を出した理由は？

もっと身近にネイルサロンがあればいいなとお客様の声をいただいたのがきっかけです。

A

Q 商店街の雰囲気はどうですか？

日曜や夜になるとシャッターが閉まっているため暗い印象があります。アーケードやシャッターなどに芦屋町のPRや絵などを描き子どもや大人たちがにぎわう町になってほしいです。

A

Q 何か町に要望はありますか？

昔のような自衛隊との交流による芦屋サンバカーニバルを復活させてほしい。なぜなら、夜の経営による自衛隊離れを多く感じるからです。にぎわっていた昔と違い、芦屋町のよさが半減していると思います。

A



リラクゼーションサロン BIO ∞ PRIKA 代表の有村莉紗さん

議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は **12月10日**開会予定しています。

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合があります。最終決定は12月上旬に開かれる議会運営委員会で行われます。傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(Tel 223-3579)

議員控室

玄界灘に面した芦屋町では、魚釣りのシーズンを向かえ、波止からのあじこ釣りに親子連れで賑わっています。親子や友達同士の絆も深まっているものと思います。一方、気候的には冬に向かつての準備のときでもありません。十分に鋭気を養い、風邪を引かないよう健康づくりに励んでください。

さて、来年は統一選挙の年です。控室においても、議員の言葉の端々に、町づくりの言葉が出ています。お互いしっかりとがんばり、元気な芦屋町づくりに向けた話題が出ています。

刀根 正幸

